

1. 民法とは何か

民法とは、**私法**（※1）の**一般法**（※2）であると説明される。市民相互間の私的な生活関係（売買契約、不法行為、相続等（※3））を一般的に規律する法である。

※1 公法と私法

社会を規律する法は、「**公法**」と「**私法**」の2つに分けられる。

用語

| | |
|-----------|---|
| 公法 | 公権力（国・地方公共団体）と私人間の法律関係を定める法、国・地方公共団体の内部関係を定める法のこと。 公権力が一定の政策目的や結果を実現するための手段として使われる。 ex. 憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法 等 |
| 私法 | 私人相互の法律関係を定める法。 私人が互いの権利義務を自ら作出し、また、私人間の紛争を処理するための手段として使われる。 ex. 民法、商法、会社法 等 |

参考 六法

- ・日本における主要な6つの法律を指して「**六法**」という。
憲法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法のこと。
- ・また、法令集のことを指して「**六法**」ということもある。
基本六法（判例六法 Professional（有斐閣）、模範六法（三省堂）等）のほか、目的用途等の違いによる法令集（税務六法、登記六法等）もある。

※2 一般法と特別法

法規範相互の関係として、「**一般法**」と「**特別法**」の関係がある。

一般法と特別法が競合する場合は、**特別法が一般法に優先する**。

用語

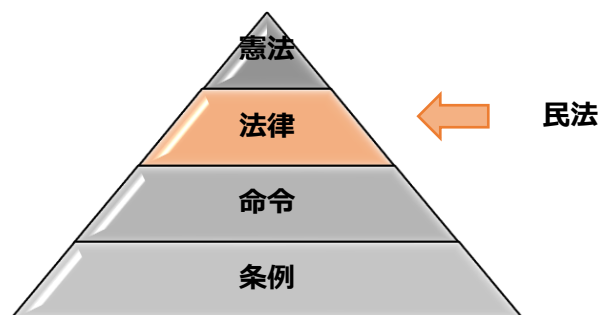
| | |
|------------|--------------------------------------|
| 一般法 | 法律関係全般に適用される法のこと。 ex. 民法 等 |
| 特別法 | 特定の領域にのみ適用される法のこと。 ex. 商法、借地借家法 等 |

参考 法令相互の関係

法令相互間で矛盾が生じないように、次のような適用関係のルールがある。

①上位法優位原則：上位法に違反する下位法は無効となる。

【日本の法体系】



用語

| | |
|----|---|
| 憲法 | 国家権力を制限する法。国家権力の組織および行使に関する基本ルールを定めた国家の根本法。 |
| 法律 | 国家が国民の権利や自由を制限する法。国会が所定の手続に従って制定する。 |
| 命令 | 行政機関によって制定される法規（政令、省令等）。 |
| 条例 | 地方公共団体がその自治権に基づいて制定する自主法。 |

②特別法優位原則：一般法と特別法が競合する場合は、特別法が一般法に優先する。

③後法優位原則：後に制定された新法（後法）は先に制定された旧法（前法）に優先する。

※3 市民相互間の私的な生活関係の例

| | |
|----------------|---|
| 売買契約 (555条) | 売買は、当事者の一方がある財産権を相手方に移転することを約し、相手方がこれに対してその代金を支払うことを約することによって、その効力を生ずる。 ex. AB間で、AがBに車を100万円で売却する（BがAの車を100万円で購入する）旨の契約が締結された。 |
| 不法行為 (709条) | 故意又は過失によって他人の権利又は法律上保護される利益を侵害した者は、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。 ex. Aが車を運転していたところ、わき見運転をしてしまい、通行人Bを撥ねて、Bに全治1ヶ月のケガを負わせた。 |
| 相続 (896条本文) | 相続人は、相続開始の時から、被相続人の財産に属した一切の権利義務を承継する。 ex. Aが相続財産6000万円を遺して死亡した。Aには配偶者B、子Cがいた。 |

用語

| | |
|----|-----------|
| 債権 | 人に対する請求権 |
| 債務 | 人に対して負う義務 |
| 物権 | 物に対する支配権 |

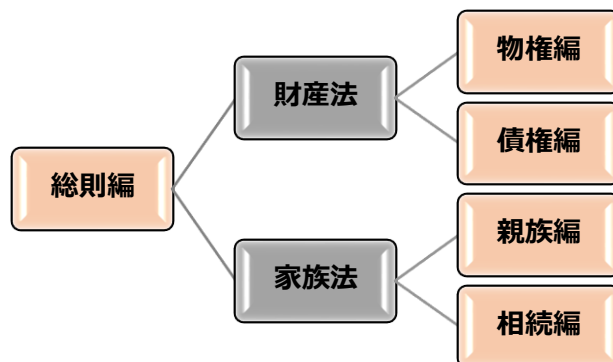
2. 民法典の構成

民法の内容は、大きく「**財産法**」と「**家族法**」に分けることができる。

私人の私的な生活関係の中でも、財産にかかわる関係（社会の経済活動にかかわる関係）に関する規定を集めた分野を「**財産法**」と呼ぶ。財産法は、物の支配関係に関する**物権法**と、人の他人に対する請求に関する**債権法**の2つに分かれる。また、家族など身分にかかわる関係に関する規定を集めた分野を「**家族法**」と呼ぶ。家族法は、家族の形成にかかわる**親族法**と、財産の承継にかかわる**相続法**の2つに分かれる。

また、民法は物権法に共通する事項については「**物権総則**」、債権法に共通する事項については「**債権総則**」、親族法に共通する事項については「**親族総則**」、相続法に共通する事項については「**相続総則**」として、各編の冒頭にまとめて規定している。さらに、物権法、債権法、親族法、相続法すべてに共通する事項については第1編に「**総則**」としてまとめて規定している。このような規定の仕方をパンデクテン方式と呼ぶ。

【民法典の構成】



用語

| | |
|-----|----------------------------------|
| 総則編 | 民法全体に共通する事項について定めた分野。 |
| 物権編 | 物権関係について定めた分野。 |
| 債権編 | 債権関係について定めた分野。 |
| 親族編 | 身分関係（夫婦、親子等）の形成にかかわる関係について定めた分野。 |
| 相続編 | 人の死亡による財産の承継関係について定めた分野。 |

参考 民法典の構成とテキストの対応関係

| 民法 | | | テキスト | | |
|-------|-----|----------|------|--------------|----------|
| 第1編 | 総則 | 第1章 | 通則 | …002 | |
| | | 第2章 | 人 | …004～011 | |
| | | 第3章 | 法人 | …012 | |
| | | 第4章 | 物 | …013 | |
| | | 第5章 | 法律行為 | 総則 | …014 |
| | | | | 意思表示 | …015～020 |
| | | | | 代理 | …021～026 |
| | | | | 無効及び取消し | …003 |
| | | | | 条件及び期限 | …027 |
| 期間の計算 | - | | | | |
| 第6章 | 時効 | …028～031 | | | |
| 第2編 | 物権 | 第1章 | 総則 | …032～039 | |
| | | 第2章 | 占有権 | …040～043 | |
| | | 第3章 | 所有権 | …044～046 | |
| | | 第4章 | 地上権 | …047 | |
| | | 第5章 | 永小作権 | | |
| | | 第6章 | 地役権 | | |
| | | 第7章 | 留置権 | …050 | |
| | | 第8章 | 先取特権 | …051 | |
| | | 第9章 | 質権 | …052 | |
| | | 第10章 | 抵当権 | …053～057 | |
| 第3編 | 債権 | 第1章 | 総則 | 債権の目的 | …058～059 |
| | | | | 債権の効力 | …060～064 |
| | | | | 多数当事者の債権及び債務 | …065～069 |
| | | | | 債権の譲渡 | …070 |
| | | | | 債務の引受け | |
| | | | | 債権の消滅 | …071～075 |
| | | | | 有価証券 | - |
| | 第2章 | 契約 | 総則 | …076～082 | |
| | | | 贈与 | …083 | |
| | | | 売買 | …084～085 | |
| | | | 交換 | - | |

| 民法 | | | | テキスト | |
|-----|------|----------|-----------|----------|----------|
| | | | | 消費貸借 | …086 |
| | | | | 使用貸借 | …092 |
| | | | | 賃貸借 | …087～089 |
| | | | | 雇用 | - |
| | | | | 請負 | …090 |
| | | | | 委任 | …091 |
| | | | | 寄託 | …092 |
| | | | | 組合 | - |
| | | | | 終身定期金 | - |
| | | | | 和解 | …092 |
| | | | | 第3章 | 事務管理 |
| 第4章 | 不当利得 | …094～095 | | | |
| 第5章 | 不法行為 | …096～099 | | | |
| 第4編 | 親族 | 第1章 | 総則 | …100 | |
| | | 第2章 | 婚姻 | …101～104 | |
| | | 第3章 | 親子 | …103～108 | |
| | | 第4章 | 親権 | …109 | |
| | | 第5章 | 後見 | | |
| | | 第6章 | 保佐及び補助 | | |
| | | 第7章 | 扶養 | - | |
| 第5編 | 相続 | 第1章 | 総則 | …110 | |
| | | 第2章 | 相続人 | | |
| | | 第3章 | 相続の効力 | | |
| | | 第4章 | 相続の承認及び放棄 | …111 | |
| | | 第5章 | 財産分離 | - | |
| | | 第6章 | 相続人の不存在 | …110 | |
| | | 第7章 | 遺言 | …113～114 | |
| | | 第8章 | 配偶者の居住の権利 | - | |
| | | 第9章 | 遺留分 | …115 | |
| | | 第10章 | 特別の寄与 | - | |